

# もくじ

|               |    |                 |     |
|---------------|----|-----------------|-----|
| はじめに          | 2  | 第7章:装備          | 45  |
| 第1章:この世界について  | 3  | 財力点             | 45  |
| アウトクラウド案内     | 3  | アイテムの作成         | 47  |
| アウトクラウドの住人    | 7  | 武器              | 48  |
| アウトクラウドで生きる   | 8  | 防具              | 53  |
| 既知世界の惑星など     | 12 | 道具              | 56  |
| 失われた未来史       | 13 | その他の装備          | 57  |
|               |    | 各種サービス          | 65  |
| 第2章:追加ルール     | 14 | 乗り物             | 66  |
| 技能            | 14 | サイバーウェア         | 72  |
| コンピュータの使用     | 14 | エイドテック          | 76  |
| 習熟強化          | 15 | ヒュレテック          | 78  |
| 乗り物での戦闘       | 15 |                 |     |
| 勇名点           | 16 | 第8章:GMの道具箱      | 82  |
|               |    | 環境              | 82  |
| 第3章:キャラクターの作成 | 18 | アドベンチャーの作り方     | 85  |
|               |    |                 |     |
| 第4章:キャラクターの出自 | 19 | 付録A:宇宙船         | 87  |
| キャラクターをなすもの   | 19 | 既知世界の宇宙旅行       | 87  |
| キャラクターの種族     | 20 | 宇宙船での戦闘         | 87  |
| エイドス          | 20 | 宇宙船             | 89  |
| ケンタウリ         | 21 | 兵器              | 92  |
| ヒューマン         | 21 | 装甲と防衛設備         | 95  |
| キャラクターの背景     | 22 | センサー            | 97  |
|               |    | サービス            | 97  |
| 第5章:クラス       | 26 |                 |     |
| マルチクラス        | 26 | 付録B:既知世界で蠢くものたち | 98  |
| エンフォーサー       | 27 | 一般人             | 98  |
| ジャック          | 31 | 宇宙海賊            | 99  |
| ドレッドノート       | 35 | 異星生物            | 100 |
|               |    | カルト             | 102 |
| 第6章:特技        | 40 | ギャング            | 103 |
| 特技の解説         | 40 | 企業人             | 105 |
|               |    | 警官              | 107 |
|               |    | サムライ            | 108 |
|               |    |                 |     |
|               |    | 付録C:アドベンチャー     | 109 |
|               |    | ピンキーとキラーズ       | 109 |
|               |    | 青春のブルースカイ・ロード   | 110 |
|               |    |                 |     |
|               |    | キャラクター・シート      | 111 |
|               |    |                 |     |
|               |    | おくづけ&あとがき       | 112 |

This work includes material from the System Reference Document 5.2 ("SRD 5.2") by Wizards of the Coast LLC, available at <https://www.dndbeyond.com/srd>. The SRD 5.2 is licensed under the Creative Commons Attribution 4.0 International License, available at <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode>.

本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。本文中では™、® マーク等は明記していません。

やあ、はじめまして。君たちの時代に干渉するには多少骨が折れるので、このように悪い場所から失礼する。ここでは下の速中があまり話さない雑談をしよう。それによって我々の時代についての理解が深まってくれれば嬉しい。む、目的があると雑談ではないな。

## はじめに

### このサプリメントについて

サイファイ・フューチャーの世界によるこそ。これはサイバネティクスが発展して人格を電子化する技術があたりまえのものとしてあり、人類の生活圏が別の恒星系まで進出した遠未来の冒険を遊ぶためのD&D第5版用サプリメントである。

### 今はいつか

こんにち我々が生きている西暦世紀が“旧世代”と呼ばれるようになった遙か遠未来がサイファイ・フューチャーの“今”だ。“今”をあらわす暦はあえて省略している。このゲームで語りたいのは厳密な時を刻むような物語ではないからだ。

### ここはどこか

主な舞台は地球から4光年と少し離れたアルファ・ケンタウリの惑星ケイロン。地球とよく似た環境を持つこの星には、先住文明ケンタウリ人の遺産である宇宙のあちこちを繋ぐゲートと、それを制御するための施設がある。いろいろあって地球人類はこれらをケンタウリ人から受け継いだ。ゲートのしろしめすケイロンは宇宙の中心となり、それを仰ぎ見る大都市、アウトークラウドが生まれた。

### わたしはだれか

君のキャラクターはアウトークラウドの住人になる。この街は全宇宙からキラキラしたものと泥にまみれた悪徳が集まる場所だ。君はそんな街に住む“誰か”になり、富や名声、あるいはもっと別の“欲望”のために生きるのだ。

時には仕事をこなすためにチームを組むこともあるだろうが、ファンタジーのように常に一緒にいる冒険者パーティである必要は無いし、そういう生き方をしている者たちは少ない。

まず“君”があり、その君のありかたにより、世界の見え方や捉え方は違うようになる。

さあ、そろそろ降下船が空港に着く頃合いだ。君の眼下には不夜城都市、アウトークラウドが見える。どう生きるかは、君次第だ。

### 本書の読み方

では、本書の章ごとの簡単な説明をしよう。

#### 第1章:この世界について

アウトークラウドや既知世界がどんな世界で、君はどうやって生きているのかを解説している。

#### 第2章:追加ルール

未来の世界で生きるためにちょっと変わったところや、新しく追加されたルールを解説する。

#### 第3章:キャラクターの作成

キャラクター作成について、順を追って解説している。ここから各項目を参照するといいい。

#### 第4章:キャラクターの出自

キャラクター作成時に必要な君の種族(サイファイ・フューチャーの世界に生きるのは人間だけではない!)、そして君が今の生き方をする前の(ひょっとしたら今もそうかもしれないが)社会的立場、背景が紹介されている。

#### 第5章:クラス

サイファイ・フューチャーの世界で君はどう戦い、生き残るか? その指針になるのがクラスだ。

エンフォーサー、ジャック、ドレッドノートの3クラスと、異なる成長指針を示すクラスごとに2つのサブクラスを紹介する。

#### 第6章:特技

キャラクターが取得できる特技を紹介する。

#### 第7章:装備

この世界に存在するさまざまな道具を紹介する。ナイフや銃などの武器からサイバーウェア。そして、精神や肉体を機械化する技術まで……この世界では、肉体や精神も複製や強化ができる道具なのだ。

#### 第8章:GMの道具箱

GM向けのデータやヒントを載せてある。プレイヤーが見ても別に構わない。この他にも少々付録がある。それは君の目で確かめてみてくれ。

わかってる、みなまで言うな。“ソーサー”の形状が非現実的すぎると言いたいのだろうか？ だが、事実としてこれは我々の前に“存在した”。そして、経緯したはずのケンタウリたちも詳しいことを知らない。かつての文明については記憶を封鎖されているようだ。

## 第1章:この世界について

人類が地球という重力の井戸の底から飛び出してそれなりに長い時間が過ぎた。アルファ・ケンタウリ星系の惑星ケイロンには、先行文明が遺した巨大な円形の岩盤“ソーサー”の上に発展した都市、アウトークラウドがある。

さまざまな恒星系を結ぶ先行文明の遺産、ネオハコザキ・ゲートを臨むこの街こそ、人類が探索した既知世界でもっとも栄えている場所であり、金と権力があれば何でも叶う無法の法が支配する現代の悪徳都市である。

### アウトークラウド案内

ケイロンの赤道近くには柱状構造物で支えられた直径10km(6.5<sup>マイル</sup>)ほどの円形の岩盤がある。その上には恒星間通信が可能なアンテナ施設があり、地下には作業機械を作るための自動工場、そして恒星間ゲートの制御施設が隠されていた。かつてケイロンに存在した文明が後に訪れる者たちに托した文明再生用メガストラクチャーである。地球の人類はこれに“ソーサー”と名前をつけた。

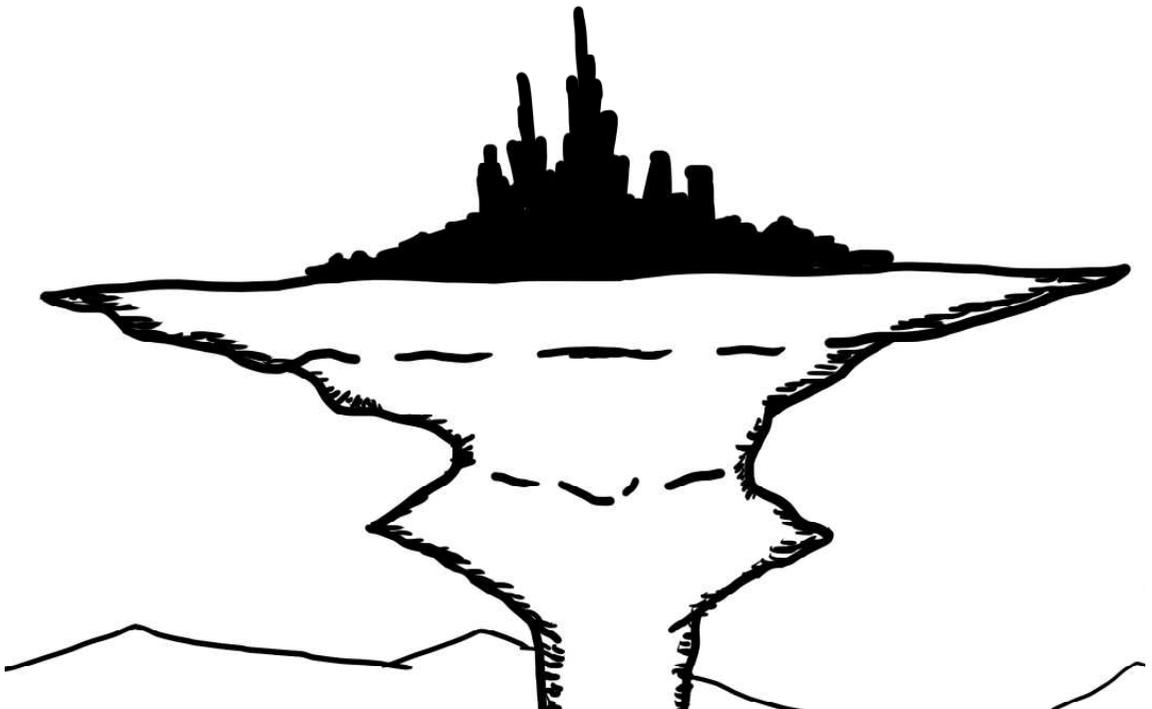
初期のデータ移民は地球からケイロンへの電波としてアンテナで受信され、いまだに稼働していた人格モデル実行環境を最初の住処として自動工場ですらの肉体を作り出し、ワープゲートの整備と入植地の開拓を進めた。

それから時が経ち、ソーサーの上にはきらびやかなゲートからの光を受けて夜を知らぬ摩天楼が建ち並び、その狭間の屋なお暗い路地裏では野良犬たちが廃棄された餌を漁る、宇宙の中でも光がもっとも強く、闇がもっとも深い都市、アウトークラウドが栄えている。

### センター

アウトークラウドはソーサーの中心に近づくほど“高級”な地域とされており、街並みは立派に、セキュリティは強固になっていく。なかでも中心から半径1km(0.5<sup>マイル</sup>)以内の区域は“センター”と呼ばれ、重要施設が密集している。

ソーサーの中心にあるかつてのアンテナ施設の他、各種大企業の社屋に占められており、官庁街のような雰囲気だ。



## ケイロン・タワー

旧文明が遺した星系外と通信するための巨大なアンテナ施設。街の住人からはケイロン・タワーと呼ばれている。地球からのデータ移民はこれに受信され、ケイロンの開拓を始めた。

歴史的遺産だが、いまだに無線施設として稼働を続けている現役の存在でもある。地下の施設と共に中立地帯として企業連合などから厳重に警備され、近づくのにも検問が必要。

## 市軍センター基地

アウトクラウド市長が管理する市軍の基地。ケイロン・タワーやファクトリーの警備の他、暴走しがちな大企業の動向にも注視している。

しかし、その実態はといえば企業軍や軍事企業より安い給与による質と士気が低い人材、更新が進まない装備など、さまざまな問題を抱えている。

## スターズ本社ビル

アウトクラウド最大手のセキュリティ企業、スターズの本社ビル。多くの地区と契約を結び、警察業務を行なっている。他の大企業のように循環環境型ではないが、いかつい外見が目立つ。

地下の格納庫にはパトカーはもちろん、ホバータンクまで取りそろえられており、強行犯への対策もばっちりである。

## タイタン重工ビル

地球の重化学工業を中心とした財閥、タイタン重工のビル。オフィスや工場の他にも社宅、食料工場、レクリエーション施設などを備えた循環型環境になっており、望むなら一生をここで過ごすことも可能。

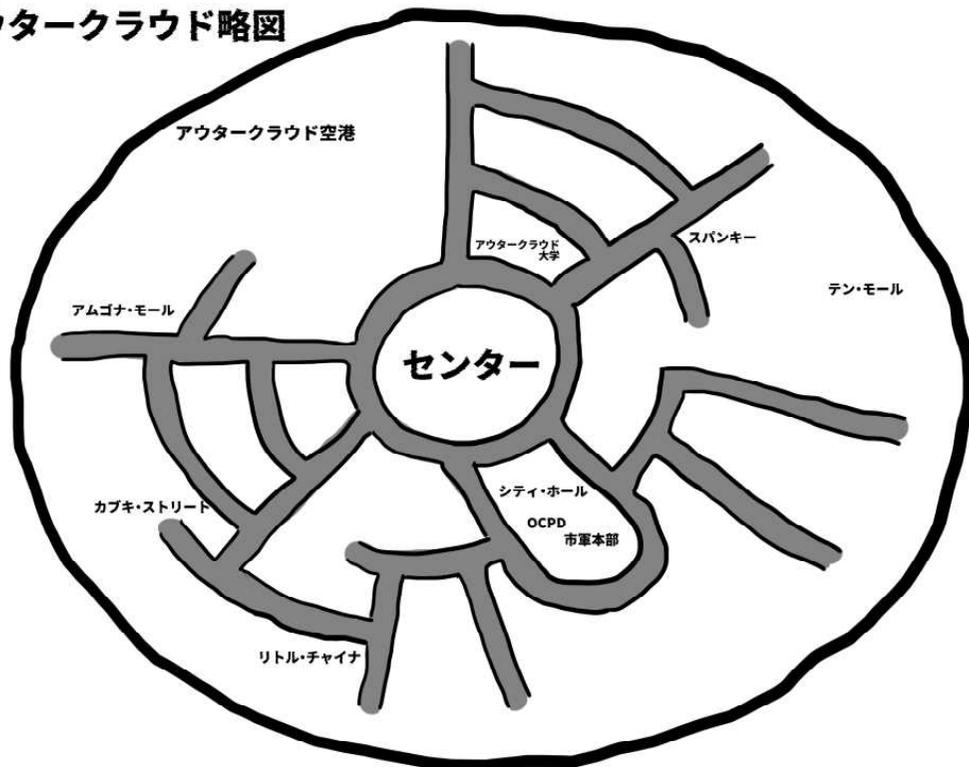
この地域には似たような循環環境型ビルがいくつか建っている。その中でもタイタン重工のものは最大である。

## ファクトリー

ケイロン・タワーの地下にある小規模な自動工場群。地球の人格モデル実行環境に似たアーキテクチャのサーバと自動工場で構成されており、データ移民たちが現地で動くための肉体を作った。現在は稼働していないが、非常用施設としていつでも動かせる状態で保存されている。

ケイロン上空の恒星間ゲートを制御するための施設もここにあるとされているが、詳しい場所は秘匿されている。

## アウトクラウド略図



## マーキュリー・メドテック病院

アウトクラウドで多くの病院を運営する医療企業、マーキュリー・メドテックの大病院。ビルの中にさまざまな診療科と病棟が詰まっている。

ここで提供される医療は高額だが、この街一番の病院であるため、無理をしてでも通う者は多い。

## アーバン

センターから少し離れた地域はアーバンと呼ばれる瀟洒な街並みが続いている。ここには市の施設や商業地区、センターに拠点を構えるほどではない企業のオフィス、上流階級からアッパーミドル層まで向けの住宅街など、アウトクラウドの中でも光の部分が集まっている。

ここでは街区ごとにスターズのようなセキュリティ企業と契約して警備レベルを強化している場所が多く、そうしたところでは抜き身の武器やあからさまなボディ・アーマーは武装を目立たなくするように警告され、警告に従わないようなら強制退去させられることもある。

## アウトクラウド大学

この街で一番規模が大きい大学で、市長により自治権を与えられた学生評議会が自治をしている。

運営費は大企業を含む市民からの寄付によってまかなわれているが、そのために利害関係者に便宜を図るような論文を発表しているのではないかと、大企業の下請けとして非人道的な実験を行なっているのではないかなど、黒い噂もある。

学生寮はセキュリティ完備でハウスキーパーも常駐している高級なものから、設立当時からの増改築を繰り返して魔窟のようになっているものまでさまざまなものがあり、卒業後や関係者でもない一般人が居座る不法滞在も問題になっている。

学食もさまざまなものがあるが、総じて若者向けの安くて重い物が多く、学生丼と呼ばれる合食の丼が伝統的な味として鼻をつままれながらも親しまれている。

## アウトクラウド市警本部

アウトクラウドの治安を守るわれらがOuterCloud Police Department O C P Dの本部である。

野放図に開発された都市全域を限られた人員で守るのには限界があるため、センター、アーバンとスプロールの治安のいい場所くらいまでしか市警の手は及んでいない。

## グレイン・モール

小売大手のグレイン社によるショッピング・モール。だいたい何でも手に入り、遊園地や映画館などもあるため、休日の外出先にぴったりだ。

しかし、ここで売られている商品はほぼ全てがグレイン社のプライベート・ブランドであるため、管理社会的、安かろう悪かろう、などの悪い評価も多い。

## 市軍基地

シティ・ホールからやや離れたところには、アーバンに似つかわしくない殺風景な市軍基地があり、戦車などの兵器を平時でも見ることができる。

アウトクラウドの市軍は市長の指揮下にある軍隊で、市の防衛や企業紛争への介入、警察が手に負えない暴徒への治安出動などのために存在している。

予算の都合で軍事企業や企業軍より低給与なために人材と士気は低質、装備も旧型だが、市の権威を象徴する組織ではある。

## シティ・ホール

市議会と行政機関が一体となった市政の心臓部。近くには市長公邸もある。

アウトクラウドの市政は公選された市長を頂点とする行政と、これまた公選された市議会議員による議会がせめぎあって運営されている。議員は大企業関係者、成功者側の代弁者が多いが、ギャングやゾクのボスも議席を持ち、彼らなりの利益を主張している混沌とした場所になっている。

シティ・ホール周辺は市軍と市警が警備しており、センター並みの警備レベルになっている。

## ニュー・ヒルズ

さまざまな趣向を凝らした一軒家が建ち並ぶ高級住宅街。ここに家を持つのがアウトクラウドで成功した者の証であるが、すぐに凋落してローンが残ったまま手放す者も多い。

## プラチナム

アッパーミドル向けの住宅地。周辺地域から独立したいいわゆるゲートッド・コミュニティ。

立ち並ぶ家々は集合住宅か建て売りが多く、その他にもコンビニやショッピング・モール、学校もあるため、大抵の用事は街の中で済ませられる。

## ロビン・グッドフェロウ

アウトークラウドでもっとも歴史のあるナイトクラブ。シックな内装とムーディなBGM、厳選されたアルコールで、大人なひとときを過ごせる。

## スプロール

アーバンやスラムの各地域を埋めるように、都市計画が破綻して際限なく拡張した街の集合体がある。この地域はビルが建ち並び区画整理され、セキュリティ会社とも契約された“ちゃんとした街並み”の横に突然、廃屋と細かな路地だらけのスラムが出現することもある。そして、スラムはもちろん犯罪の温床だ。

というわけで、こうした地域の警備レベルは一步別の道に踏み出すだけで突然銃撃戦に巻き込まれることもあるスリリングなものだ。

## アムゴナ・マーケット

さまざまな専門店が軒を連ねるショッピング・モール。多様なブランドの多様な製品を選べることをウリに、アーバンのグレイン・モールと張り合っている。

もちろんレクリエーション施設も充実しており、映画館やジム、スパなどがある。買い物と一緒にスパを楽しむ家族連れも多い。

## カブキ・ストリート

サイバーパンクの聖地、日本の千葉市チバ・シティを模した区域。きらびやかなネオンの下にはサイバーウェアやエイドテック、ヒュレテックの店が建ち並び、サイバーパンクたちが品定めしている。

この街にある茶壺チヤウポというバーは、金次第で何でもやる剣呑な連中のたまり場だともっぱらの噂だ。

## サン・シモン工場

大手合成食品会社、サン・シモンのアウトークラウド工場。原料となるケルプやソイ、オキアミの培養から加工までを行なう大工場だ。アウトークラウドでも食料生産を最初からする工場を持つ食品会社はそこまで多くない。重要なインフラであるため、警備は厳重だ。

## スパンキー

血湧き肉躍る熱い音楽、そして酒やドラッグを楽しむのなら、このナイトクラブだ。ケンカや時には銃撃戦があるのも、いいスパイスになる。

そこそこ治安がいい場所があるので、ちょっとヤンチャしたい中産階級の若者が立ち寄り、暴力沙汰に巻き込まれることもよくある。

## リッキーズ・アベニュー

アウトークラウドにおいて平均的な住宅地。集合住宅が並びコンビニもあるが、たまにギャングの抗争などが流れてきて死傷者もでる。そんな賑やかな通りが、この街にはいくつもある。

## ユーロ・タウン

旧世代のヨーロッパを意識した背の低い建物が多い街区。景観維持に気を使っており、何度も大規模開発計画と衝突している。

## リトル・チャイナ

華人系コミュニティによるチャイナ・タウン。中国風の建物が並び、中華料理やおみやげを売る店が建ち並ぶ観光地でもある。三合会がにらみを利かせているので、世の中のルールを知っているギャングは近づかない。

## スラム

ソーサーの外周部は都市から弾き出された者たちが廃墟や広場にてんで勝手に手を入れて済んでいるスラムと、未開発地域が広がっている。

ここでは自らの力こそがルールだ。銃を突きつけられても遅いなと笑って相手を撃つくらいの度胸が無いと、生き残るのは難しい。

## アウトークラウド空港

広大な敷地を市軍や市警、スターズがいかにしく警備するこの空港が、この都市の空への玄関口である。1日中宇宙船が発着している。

ケイロンの開発はソーサーから300km(200<sup>マイル</sup>)までというケンタウリ人との“協約”があるためにソーサーの外は閑散としているが、わずかな拠点へ向かう航空便もある。

## テン・モール

郊外の広大な大規模商業施設……の建設中に会社が倒産し、誰も手をつけなかったために放置された建設現場。

今はスラムに飲み込まれ、ホームレスやギャングが建物を勝手に占有して一種の要塞都市になっている。

## バード・ケイジ

広大な地下駐車場跡を利用したナイトクラブ。昼夜を問わず激しい音楽が流れ、異なるフロアを仕切るギャング同士の抗争なども日常茶飯事だ。

## レンブラント・ファーム

引退したギャングが新たなビジネスとして始めた天然野菜と家畜の牧場。スラムではところどころにこうした牧場を見ることができる。

# アウタークラウドの住民

ここではアウタークラウドのちょっとした有名人や、そうでもないが有用な人物を紹介する。ロールプレイの手がかりや、アドベンチャーを作る時の味付けに使ってもらえると幸いだ。

## 市の人々

ここで紹介するのはアウタークラウドの市政に関わる人々だ。

### アルフレッド・アダムズ(エイドス・♂)

イニシャルがわかりやすいこの人物は、現在のアウタークラウド市長である。企業連合の組織票で当選したため、企業の御用聞きと揶揄されている。実際その通りで、市政の外注を進めて関係各社を潤わせている。議会では企業系の他に犯罪組織系の市議たちもこの流れを歓迎しており、多数派工作に成功している。

### クミコ・オーガスト(ヒューマン・♀)

アウタークラウド市警の總監。OCPDの予算を削りにきた現在のアダムズ市政と真っ向から対立したが、市警予算は削られてスターズへの警察業務外注は進んだ。

しかし、某財閥の継承者である彼女は、莫大な資産を利用して秘密裏にフリーランスと接触し、彼らに報酬を出すことで難事件の捜査を独自に行なわせている。もちろん重大な越権行為だが、市長と總監の綱引きに巻き込まれたくない周囲は沈黙を決め込んでいる。

### ニール・ヤオモト(ヒューマン・♂)

アウタークラウド市軍の総司令官。市長からの指示を淡々と実行する人物で、軍人の本分をわきまえていると評判がいい。

## ルパルト(ケンタウリ・♀)

アウタークラウド市立大学の学長。ヒュレーは持っておらず、人格データ実行環境の中でいくつかの“自分”を実行し、授業と研究と雑務を並行で行なっている。

エイドスの改変で知識をいくらかでも拡張できる時代だからこそ、基礎を固めて最先端の分野を追究していくことが大切と説く。

## 企業の人々

こちらは企業の“えらい人”たちだ。

### アーロン・タイタス(ヒューマン・♂)

タイタン重工アウタークラウド支社の支社長。軍事部門に強いパイプを持っているため、この街でとんとん試作品を実験し、宇宙全域に通用する新製品を発売しようとする気概に満ちあふれている死の商人。性格はととても陽気で前向き。

### エイリアス(エイドス・♀)

マーキュリー・メドテックに所属する医師のエイドス。彼女のエイドスはこの街全域のマーキュリー・メドテックの病院で使われている。また、事故で失踪したり脱走したりで、闇医者になっている者もいる。

### シュガーちゃん(エイドス・♀)

食品大手サン・シモンのマスコット。週末にもなれば、モールや街角で新製品のプロモーションをしている姿を見ることができる。

彼女のエイドスは社長にして最高開発責任者のエレナ・シモンとリンクされるため、エレナはオフィスに居ながら市場の声を聞き、より多くの人々に受け入れられる商品開発に注力できている。

## 街の人々

街で活躍するその他の人々だ。キャラクターたちと一番縁のある人たちかもしれない。

### サイトー(ヒューマン?・♂?)

おそらく日系人だと思われるサラリーマン風スーツに身を包んだ眼鏡の男。企業や組織からの裏仕事をフリーランスに紹介する仲介人だ。さまざまな企業の情報を握っているのに、彼の周囲はなぜか無風なのが、凄腕のフィクサーであることをうかがわせる。

フォンは大企業や行政などからつけられた首輪だと言う勢力もある。その通りだ。別に誰からも強制されないのに、持たないと生きるのがとても難しくなる。そーゆーことと折り合いをつけてやっていくのがセケンってやつだが、あまりパンクじゃないと思わないかね？

## スラッシャー(ヒューマン・♀)

こんな時代には珍しく、全身をサイバウェアでチューンナップしてまで刃物での戦いにこだわる荒事屋。稼いだ金はぱっと飲む性質で、脳味噌が自分であることにこだわる古い女だと自嘲する姿がよくバーで見られる。

## タイフーン(ヒューマン・♂)

スラムで暴虐と略奪をほしいままにする武闘派ギャング、ハリケーンズのボス。ホバータンクを乗り回す軍装の男で、“大佐”と呼ばれると喜ぶ。

彼はさまざまな企業に“貸し”を作り、兵器の横流しや人身売買でハリケーンズを一大組織にのし上げた。しかし、彼が大きくなりすぎたと判断し、暗殺を計画する企業も増えてきている。

## ブルドッグ(エイドス・♂)

ヒュレーを頭を犬の顔に改造した男で、ギャング、ヘルハウন্ズのボス。ヘルハウন্ズはスプロールの一部を縄張りにしており、近くの住民からの“保護料”を収入源に、外敵と戦うギャングだ。

部下たちにも犬の姿を取らせることにこだわっており、酒に酔うなどして機嫌がいい時には成形手術代を出してくれる。

## ホエール・ジョン(ヒューマン・♂)

ギャング、ブラック・ドルフィンボスの彼。ギャングは動物の解放を謳い、富裕層の家や動物園などから貴重な動物を誘拐している。もちろん、保護が目的ではなく、それを闇市場に流して一稼ぎしているのだが。

## ラッツ(ケンタウリ・♂)

カブキ・ストリートのバー、茶壺の主人。ヒュレーをわざと不細工に加工し、同じ名前を名乗り、同じ名前の酒場を経営するほど、旧世代のある作品のファン。馴染みの客には少しごちそうするなど、この時代には珍しく人情のある男。

## アウトークラウドで生きる

さて、それではこの街で君たちはどう生きているかについて、いくつか項目立てて解説しよう。

### フォン

---

旧世代のスマートフォンから発展した情報端末、“フォン”は、市民にとってなくてはならないものになっている。連絡を取り合ったり、ネットにアクセスしたりはもちろん、ゲームや映画も楽しめるし、電子決済や市民IDの確認など、社会生活の根幹に関わる機能も内包されているからだ。

というわけで、君らはおおむねフォンを持っている。そういうものを持たないポリシーのある君は、電子決済用のICカードと市民ID証を持ち歩くことになる。これらはいずれも作る手間はかかるが、購入難易度はない。

### 市民ID

---

アウトークラウドの住民は市民登録した市民と、滞在用IDを持つ滞在者、そのいずれも行なっていない不法滞在者に分けられる。

市民になるとこの街の劣悪な公共サービスが受けられるし、滞在者もまあお客様として遇してもらえる。

不法滞在者は密航で来た者、滞在ビザが切れた後も帰らない者、不法滞在者の子で生まれた時から市民IDと無縁な者など、さまざまな者たちがいるが、行政的には“いない人”になっている。だから彼らの住むスプロールの裏路地やスラムの問題は一向に解決しない。市民IDを持つ市民からの突き上げで、不法滞在者一斉検挙キャンペーンが行なわれるくらいだ。

### 機能不全の公共サービス

---

アウトークラウドはその都市の規模に対して市の力が圧倒的に不足している。空き巣の被害を警察に訴えてもいつ受理されるかわからない。救急車を待つ間に死んでしまう患者など日常茶飯事だ。

そこで人々は企業が行なっている似たサービスに頼っているし、市もそれを容認している。つまり、スターズの警備保障に入って彼らに空き巣を逮捕してもらったり、マーキュリー・メドテックのレスキュー保険でマーキュリーの救急車に乗ったりだ。こうして、企業の力はより強くなる。

この街の食糧事情はかなりよくなった。以前はユニパテすら輸入品で入手不安定な時期があったのだ。その頃はカニバリズムに走る者たちもいたとかいなかったとか。今はサン・シモンズが原料の生産からケイロンでやるようになり、値段も安くなり物もあふれた。

## 力を持つ大企業

人類の宇宙進出の拠点であるアウトークラウドには、タイタン重工やホサカ、タイレルなど、そうそうたる財閥が拠点を置いている。彼らの力は強大で、その財力と従業員数をもって行政や議会に圧力をかけ、自治権を勝ち取っている。

というわけで、大企業と事を構える時は注意した方がいい。配下の企業警察や企業軍に射殺されても、それは彼らの正当防衛になるからだ。

## 自衛する市民

物騒な世の中で、役所は頼れない、企業は金のある奴しか相手にしないととなると、市民は自衛するしかない。さいわい、アウトークラウドの武器規制は旧世代のアメリカ以下の低水準なため、人々はその辺の店や売人から銃やカタナを買える。もちろん身を守るための防具もだ。

というわけで、多くの、特に貧しい人々は自衛のために武装する。そして彼らが隣の奴をぶっ殺して金や物を奪ってやろうと思ったら、犯罪者のいっちょあがりというわけだ。そしてそういう奴らがつるむと、ギャング団が生まれ、この街の治安はより悪くなる。

## 富の尺度

さて、富、つまり金の話だが、アウトークラウドや地球、他の星系などをひっくるめた既知世界でもっとも普及している共通単位はクローム(Cr.)だ。もう無くなって久しい信用取引市場の名前がそのまま残っているもので、クレジットの略だと思っている者もいる。

現在の貨幣価値とたやすく換算できるものではないが、1Cr.の価値は日本円にしておおよそ100円から200円といったところだ。

現物としての貨幣はさまざまな信用保証機関が発行している。アウトークラウドでも市がCr.に交換できる紙幣を刷っている。

だが、ほとんどの支払いは預金や信販会社による電子取引で行なわれ、決済手数料や(存在すれば)税金が引かれて受取人に渡る。

闇市場ではトレーサビリティが完璧ではない紙幣や硬貨がもっともありがたがられる。次いでプリペイドの電子マネーで、これはとれだけ追跡し難い決済サービスを使って作られたかで価値が変動する。換金が難しいが、宝石やレアメタル、そして人間など、高価な物品での支払いもある。

## 金があれば食うことの話も

金のついでに食べるについても話をしよう。アウトークラウドでの食事は、圧倒的に合成食が多い。この時代の合成食は、ケルプ、ソイ、オキアミをベースにビタミンやミネラルを配合した万能パテ、略してユニパテに味をつけたものだ。

もっとも安い食べ物、無加工のパテに気持ち程度肉やカレーの風味をつけたもので、マッシュポテトみたいな見た目と独特の生臭さが特徴だ。こいつは6個1組のパックに入って売られているが、ドッグフードよりもまずいヒューマンフードと評判だ。犬に食べさせたら虐待ものだが、人は自ら選べるので虐待ではない。

もう少しランクを上げると、ユニパテはハンバーグやカバヤキのように食べ物らしい形に成形され、演じる役割ごとに異なる味をつけられ、インスタント食品のていで提供される。ちょっと凝ったものだと、レタスやキャベツ“風”のサラダなんかもある。多くのファストフードで提供されるのも、こうした成形された合成食だ。

これよりもっとランクを上げると、生肉や野菜のように成形されて生産され、買った奴が調理する“偽肉”や“偽野菜”になるが、近頃はスラムで養殖された天然素材に押され気味だ。

## 天然素材の世界

天然素材、つまり本物の牛や豚を殺して作った肉や、畑で採られた野菜も、この街には存在する。地球や他の人類が入植した惑星から送られてきた物も多いが、もっとも値頃で種類も豊富なのは、スラムを開墾して作られた農場で育てられた物だ。

もちろんそれでも値段はちょっとしたものだが、たまの贅沢や記念日の食事に珍重されている。しかし、これらの多くはギャングが自分たちの縄張りビジネスとして行なっている事業だ。それを盗泉の水と取るか、社会復帰への支援金と取るかは君次第だ。

## 素敵なお部屋に住みたい

食うことの次は住むことの話しよう。この街の住環境は、その多くが集合住宅だ。日本風と言えば、アパート、マンション、長屋などだ。これを賃貸で借りる者が多い。大企業だと、だいたいの雇用契約に住居の貸与も含まれている。

物件を買うのなら、市街戦で吹き飛ばされたらそれまでだから、保険は忘れないようにしておけ。

賃料だと、びっくりするほど安いものから目が飛び出るほど高いものまで、上と下が果てしない。高い方の上は君たちが想像できるような直通エレベータ付きのベントハウスや、プールのある豪邸などの方向なので割愛するとして、下の方はといえば、スラムにある廃ビルに近くの電力線から盗電した電気を通した物件が貸されているあたりがホームレスよりはマシ程度か。こういう不法居住ビジネスを生業にするギャングも多いので、警備もされているというわけだ。

定住しない生活ならホテル住まいだが、貧乏人向けでは“コブツ棺桶”という壁に囲まれた低い天井のベッドを貸すホテルがある。こういうところは数Crで泊まれるため、その日暮らしの殺し屋などが翼を休めていることがよくある。

## 外見を彩れ

食う寝るとききたら着るもののお話だ。この時代はいろんな奴がいろんなファッションをする。

君が生きている時代より、ファッションで自分がどんな存在かアピールする者は多い。威圧するともいう。ギャングは合皮と金属のアクセサリがトレードマークだし、サラリーマンは皆似たようなスーツと髪型だ。サイバウェアを使えば、体も思いのままだ。自分をキャンバスにしろ。

## フォンは娯楽の王様

娯楽の話をしよう。アウトクラウドの娯楽といたら、まずはフォンだ。これがあればネットで動画や音楽を楽しめる。サブスクリプションや購入の金が無くても、海賊版がある。基本無料のゲームもあるから、どんな貧困層でもフォンと電気があれば最低限の娯楽は享受できる。

## 映画は高級品

映画は旧世代に比べると高級な娯楽になった。ネット配信に対抗し、ゆったりとした空間でリッチに楽しむことを重視しているからだ。

しかし、それは過酷な市場原理にさらされている最先端での話だ。スラムには適当な広いハコを使ってプロジェクターで動画を流す非正規の映画館があり、こういうところなら安く観られる。

## 合成ドラッグで安く速く

もっとも安い娯楽といえば、スラムで誰もなしに音楽と踊りを始める路上レイヴだ。何しろ、タダでできるのだから。

そして、それをもっとエキサイトさせるのが、粗悪な合成ドラッグだ。これらはネットで少し調べればレシピが出てくるから、あとは道具と素材があれば簡単に作ることができる。自分で楽しむのもいいし、人に売って小遣いを稼ぐのもいい。

例をあげると注射してすぐにトブシンセンス、飲んだ後しばらくすると興奮作用が得られるマッハコーク、貼ると興奮状態を増幅するブラックパッチなどがあり、日々新たなものが生み出される。

だが、素人でも簡単に調合できるということは、細かな粗を取り除いていないということでもあり、いずれもハイになった後は凄まじい酩酊感やだるさに襲われる。

## シム・スティム 疑似体験で君もヒーローだ

この時代で最先端の娯楽といえば、君の脳へ“体験した記憶”を流し込む疑似体験だ。

これは脳を騙しているので、筋骨隆々の戦士が敵を倒していくデータなら、君は本当にそういう経験をした気になれるし、魅力的な異性とロマンスを楽しんだなら君は本当にそういう感覚に覆われる。

自分とデータの混同を起こす危険性が指摘されているので、正規に流通するデータではあまりに過激なものや、この感覚が“嘘”であるとわからなくなるものは排除されている。

もちろん、表があれば闇もあるので、殺人者の体験を再生したり、完全に自分自身の体験として再生される危険なデータもある。

## わたしと機械の境界線

疑似体験がそうであるように、この時代、君の精神や肉体とデータや機械との境界線は非常に曖昧なものになっている。

人格はその文脈を保存してエイドスというデータにでき、そうなれば改変も複製も思いのままだ。信じるかどうかは君次第だが、君という人間存在固有の魂やゴーストといったものの存在可能性はかなり低くなったと言わざるをえない。

肉体だってそうだ。人体に機械を埋め込むサイバウェアは一般的な技術だし、完全な人工物としての肉体、ヒューレーもある。エイドスとヒューレーを組み合わせれば、君の文脈を継承するコピーを作ることなど造作もない。

さて、こんな時代に君を定義するものは何かといえ、君自身だ。最先端を追い求めるのはいいが、食われるんじゃないぞ。

エイドスには彼が何をどう考えてきたかという文脈が保存されていることになっている。事実、実行すると彼の記憶を持った彼のごとく話すモノが出てくる。だが、そこに彼と肉の伴った連続性はない。そう、信じるか信じないかの話なのだ。君はどちら側につくかね？

## 人格≠エイドス？

人間の肉体をスキャンし、その時の電位などのデータを“切り取った”ファイルがエイドスだ。これを人格モデル実行環境で実行すると、新たな君が“切り取った”次の瞬間から先の人生を生き始める。

という理屈かといえば、人間の自我や精神といったものは心臓や脳みそのような魂やゴーストが君臨しているのではなく、「知覚したものごとへのフィードバックの絶え間ない連続に過ぎないのではないか」という仮説に基づいたのがエイドスの理論だ。

これを読んだ君にはいろいろと言いたいことがあるかもしれないが、さまざまな実験を経てそれは“確からしい”と認められているため、人格や精神と呼ばれるもののコピー、再生技術として広まっていった。

もちろん、この理論に反発している者たちもいて、彼らは精神のありかを脳に求めたり、絶対にスキャンやコピーできない何かがあると信じていたりする。

## エイドスの権利

人類の地球からケイロンへの進出は、電波に乗ったエイドスがケイロンのコンピュータにアクセスする“データ移民”の形で行なわれた。この献身的(に見える)行ないと功績は彼らを一個の人格がある存在として社会に認知させ、権利運動が盛り上がった。

そして、旧世代の末期にしかるべき手続きを行なえば人間と同じ権利を持たせる法律がさまざまな共同体で発効し、それは現在にまで続いている。

アウトークラウドでどうなっているかといえば、市民IDが登録できれば、エイドスであろうと、彼らと同じような規格であるかつてケイロンに住んでいた者の残滓、ケンタウリも市民権が得られる。

## ケイロンにいた者、ケンタウリ

人類がアルファ・ケンタウリの惑星ケイロンまで移民できたのは、人類だけの功績ではない。ケイロンとデータのやりとりができるアンテナ施設や、ヒュレーを作る自動工場があったからだ。

これらを作ったのはケイロンの先住者、ケンタウリである。彼らは少なくとも数百万年前に痕跡をほとんど消し、この星を去った。残された彼らのデータは、自分たちに文明をもたらした者たちを探す旅に出たと語るのみである。

## エイドスの乗り物、ヒュレー

生身からスキャンしたエイドスやケンタウリは、人格モデル実行環境で動作させるとその人物として活動を開始する。しかし、それはあくまでも精神的活動に限られる。ネットを検索して動画を見て楽しいと思うことは可能だが、笑いながら手を叩くようなことは不可能だ。

それを実現するのが、ロボット技術によって作られたエイドスの乗り物、ヒュレーである。これらは人間や動物の形で作られており、この中でエイドスを実行すると自分の体として認識される。つまり、動画を見て笑いながら手を叩けるのだ。

こうしたヒュレーにはパッケージ化された脳や、エイドスまで発展していないAIを入れた物もある。

## エイドス≠AI？

データとしてエイドスが抽出される時代、これとAIを分かち物は何か、という問題は常につきまわっている。現在のところ人類が出している答えは、機能に限りがあり発展性の乏しいものがAIである。という曖昧なものだ。

そしてエイドスかAIかの問題を解決するために、チューリング審査機構という国際団体がある。チューリングのテストに通過するかどうか、AIかエイドスかの境目になり、それにともなって人権の有無などが決まってくる。

そのため、エイドスからデータを“剪定”して単純作業用のAIを作ることもあるし、AIが学習を深めてエイドスに昇格することもある。

## アウトークラウドの外

この時代アウトークラウドの外はどうなっているのかも少し話しておこう。

人類の活動圏が宇宙全域に移ったため、地球は少し重要性が減った。何しろ、宇宙のさまざまな場所に行けるゲートを作る装置はケイロンにしかないからだ。そのため、地球には既に富を持つ富裕層が多く住む場所になり、旧世代の21世紀前後の文明リバイバルが流行している。

地球の月はケイロンから太陽系のゲートが開通した後、旧世代に行なわれた開拓地の残骸から宇宙船ドックが作られ、太陽系脱出の拠点になった。

地球人たちが探索中の星は、くじら座 $\tau$ 星e、グリーゼ667Cc、ノース三連惑星、 $G^3$ などである。これは資源や入植地の目的だけでなく、ケンタウリに文明を与えた何者かの探索でもある。

ノース三連惑星から碑文らしき物が発見されたというニュースもあった。エクラート、ファールス、フォーリナーというのがそこに住んでいた者たちが自分たちの世界につけた名前だとかなんとか……。タブロイド紙の記事だが、彼らは伝統的に隠秘と相性がいいからね。

## 既知世界の惑星など

こちらではアウタークラウドの外、人類が探査した既知世界のさまざまな惑星や宙域について、もう少し詳しく説明しよう。経験を積んだらこの街から出て、宇宙に飛び出すのも一興だ。

### ケイロン

アウタークラウドがあるのが、アルファ・ケンタウリの惑星ケイロンである。数万年前まで先住種族ケンタウリが栄えていたが、彼らは“ソーサー”を残し、自分たちに文明をもたらした存在を探しに宇宙へ散らばった。

現在のケイロンは地球人が入植する時にケンタウリと交わした“協約”により、アウタークラウドから300km(200<sup>マイル</sup>)までしか地球人の立ち入りは許されていない。もちろん、ケンタウリの遺産や遺跡がないか探す山師たちは勝手に領域外へ出ているのだが、なぜか帰ってきた者はいない。

### ケイロンの外

ケイロン上空のネオハコザキ宙域に、宇宙各地へ向かうためのゲート群がある。これらは“ソーサー”の地下にある制御施設で管理されている。

宇宙のどこかに行き来できるゲートを作ることができるのはケイロン近傍だけであるため、ケイロンは既知世界の中心になった。

ゲートに出入りする宇宙船が多く停泊するのが、アキレウス・コロニー群だ。ここには普通の旅行者や運送業者用の補給地点の他、宇宙海賊など無法者の出入りも黙認される混沌としたコロニーもある。多くの旅行者はここで長距離航路から降下船に乗り換え、アウタークラウドに降りる。

ケイロンの衛星は2つで、ヒッペとカリストスという名前だ。ここには調査拠点が点在している。

### くじら座τ星e(マアト)

惑星の固有名はマアト。人類が呼吸できる大気と、成分が豊富な海を持つ。自然が豊かなため、観光客や未確認生物ハンターが多く訪れる。

この惑星に住むグリックやビヒアなどの生物は、異星生物としてアウタークラウドの動物園でも人気がある。

最大の都市はオーロラだが、宇宙港とその周辺設備が特に栄えているくらいで、人類の拠点は惑星のあちこちに点在している。

惑星の生物の捕獲や持ち出しは生態系保全の観点などから学術目的でも厳しい審査が必要だが、密猟や密輸が後を絶たない。

### グリーゼ667Cc(アプスー)

惑星の固有名はアプスー。惑星のほとんどが海に覆われており、メガフロートによる洋上都市が建造されている。

宇宙海賊たちが支配する惑星で、さまざまな勢力の思惑が絡まりながら、誰もが失っては困る補給拠点して危うい中立が保たれている。

さまざまな勢力の軍や警察に狙われることもたびたびだが、そういう時は宇宙海賊たちも一時的に同盟を組み、外敵に対処している。

### ノース三連惑星

発見されたのが比較的最近であるため、まだ固有名はついていない。人類の生存に適した環境の惑星が3つ連なっている珍しい環境。

この三連惑星で特筆すべきは、人類発見前に存在した“何者か”の痕跡が残っていたことである。

痕跡から浮かび上がってきた先住者の姿は、同じ起源を持ち、そこから3つの惑星に移住した宇宙旅行の技術を持つ文明だったということだ。

彼らがどんな存在だったかはまだ謎に包まれているが、ケイロンに文明をもたらした存在との関係を含め、さらなる成果が期待されている。

ゴロディロックス

G 3

こちらにも比較的最近発見されたため、まだ固有名はついていない。ケンタウリの遺産ではなく、地球人が独力で見つけた(予測した科学者や探査チームにはケンタウリがいたのだが)3つ目の生存可能惑星である。

地球の数倍の大きさと資源も豊富なため、資源基地として期待されており、大企業が我先にと調査隊を派遣している。

### 地球

現在の地球は宇宙の中心をケイロンに譲り、旧世代の21世紀前後の文化をリバイバルさせたのんびりとした環境になっている。

住んでいるのは宇宙に出てあくせく働かなくてもいい特権階級や富裕層が中心だ。

月は旧世代に建設途中で放棄された月面基地をデータ移民たちが再利用した造船所が多くあり、初期の宇宙移民を支えたが、今では過去の栄光だ。

これが君たちの時代とわたしたちの時代の間に横たわる“差分”だ。情報技術、ロボット工学、そしてファーストコンタクトによる宇宙開発の加速で、わたしたちの時代は君たちの時代を“旧世代”にした。一部だが物理法則を壊すのはあまりにも大きな“ずる”だった。

## 失われた未来史

最後に、ちょっとした昔話をしよう。西暦世紀が“旧世代”となるまでの話だ。もしかしたら、これが君たちに関わることがあるかもしれない。

### 宇宙開発ブームとその終わり

かつての地球で、第二次世界大戦という世界を巻き込む戦争があった。その後の世界は、アメリカとソヴィエトという二大国が水面下で覇権を争う時代に突入した。

両陣営ともに国威発揚の一環として宇宙開発を掲げた。地球周回軌道の飛行から太陽系内への人工衛星打ち上げ、そして月面着陸と一足飛びに宇宙への扉は近づいた。

しかし、宇宙への扉を少し開けた人々が見たのは、天体の荒涼とした姿と、旅をするのはひたすら地球からの持ち出しになる現実だった。

その結果、地球軌道上まで上がることは有用だが、それより先の月や火星はとても難しい。というあたりが落とし所になった。なにより行ってもやることがない。さまざまな勢力や大富豪が宇宙移民プロジェクトを進めて実行されたものもあったが、それらは一時のニュースになるだけで宇宙のゴミになっていった。

### 大規模ネットワークの誕生と腐敗

世界の情報化が進むと、小規模なコンピュータ・ネットワークを連動させる必要性が生じ、統一規格が提唱され、多くの組織がそれに乗った。そうして惑星を蜘蛛の巣のように覆うネットが成立した。

最初は専門家の実務とちょっとした趣味の空間だったこのネットはやがて世界中の人々に開放され、多くの情報が行き交う場となった。

商業主義が支配するようになったネットは小銭稼ぎのために作られて放置されたゴミのような情報と大量の広告で飽和した。この時期に脚光を浴びたのが、情報から不要なものを除去して提示してくれるAIエージェントだった。

ネットに大量のゴミと広告が流れているのは確かだが、エージェントに情報を取りに行かせるのがスマートな手段として確立されたのである。

多くの人がネットワークへのアクセスを人工知能エージェント経由で行なうようになると、彼らを“養う”ための空間が必要になった。

そこで生まれたのが、大規模な計算資源によってユーザに特化したAIを実行するデータ・オーシャンである。

データ・オーシャンからネットへアクセスするエージェントを利用してネットを見るようになった人々が増えることで、多くの人々にとってデータ・オーシャンこそがネットそのものになった。

### 機械の見る夢

「人間の心はどこにあるのか？」という問いがある。それは心臓であったり脳であったり、体を取り巻くオーラであったりと、さまざまな想像がなされてきた。

その中には、人間の心は絶え間ない入力とそれに伴う出力の循環だという説もある。

旧世代も終わりが迫った頃、機械技術は人体の持っている状態をかなり正確にスキャンできるようになった。

こうした技術が組み合わせさり、数名の有志がスキャンされた人間の“状態”をモデル化された“現実”で実行する試みを行ない、“現実”のアーキテクチャとしてデータ・オーシャンが選択された。

こうして生まれた人間を元にしたAI第一号のコンティニューイティは、ある日「私は人間から測定したパラメータを元にしたAIである」と声明を出し、自分と同じような存在、すなわちエイドスの作り方を公開した。

この衝撃による世界の混乱をよそに、エイドスは次々と誕生し、コンティニューイティの理論の“確からしさ”は実証されていった。

かくして、人類はなし崩し的に隣人を得るはめになったのである。

### 遊星より愛をこめて

エイドスが普及してからしばらくして、ある天文マニアが奇妙な電波を受信した。解析してみたところ、何かのデータだと感じられたそれを誰かがエイドスの実行環境に入れてみると、驚くことにそれは“再生”されてしまった。

“それはアルファ・ケンタウリにある惑星ケイロンにかつてあった存在だと自己紹介し、惑星には君たちを実行する計算機があると同胞たちに呼びかけた。

エイドスたちは半信半疑で地球から自分たちのデータを指定された座標に送信した。すると9年後、アルファ・ケンタウリから通信が届く。

こうして、旧世代は終わっていった。